

1118		民族文化誌	
英名科目名	Ethnography		
大学名	立命館大学		
連絡先	【衣笠教学課】TEL：075-465-8310		
担当教員	原 毅彦		
開講期間	2021年9月27日（月）～2022年1月19日（水） < 毎週木曜日 > 2時限：10:45～12:15 < 教室案内 > 「立命館大学の開講科目を受講する皆様へ」から確認してください。 http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html 補講日や祝日授業日など、学年暦は立命館大学HPから確認してください。 http://www.ritsumeai.ac.jp/profile/info/calendar/		
開講形態	後期・秋学期	開講曜日・講時	木曜日 2講時
単位数	2	履修年次	2回生以上
会場	衣笠キャンパス		
授業定員			
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	10
試験・評価方法	【平常点評価】100 % 講義時に10分程度で書いていただくことがあります。 各単元における理解度を測る目安としたい。 最終授業日に試験を行う予定です。 【備考】 基本的に筆記試験（最終授業時）です。 講義時のペーパーは随時であり、回数は未定。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料	京カレッジ生の方のみ、以下の受講料が必要です。 ・科目等履修生：43,400円 ・聴講生：25,800円		
別途負担費用	なし		
その他特記事項	<p>新型コロナウイルス感染症への対応情報について 立命館大学では、新型コロナウイルス感染症に対する独自の行動指針（BCP）を設け、BCPレベルに応じて授業実施形態や入構制限等を判断しています。 立命館大学の行動指針（BCP）や入構制限状況、その新型コロナウイルス感染症への対策等の情報は以下HPからご確認ください。</p> <p>< 新型コロナウイルス感染症に関する特設ページ > http://www.ritsumeai.ac.jp/news/detail/?id=1679#page-title1</p> <p>シラバスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラバスを確認してください。 http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/gaku/onlinesyllabus.htm</p> <p>【諸手続】(単位互換生のみ) 受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 < 受講手続案内ホームページ > http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html</p>		
パッケージ科目			
低回生受講推奨科目			

講義概要・到達目標
<p>【授業の概要と方法】 日本の民族文化について講義します。日本人にとって、日本の文化はあまりにも当たり前で、空気のように意識しないものです。そんな日本文化にあえて目を向けて、自分の無知を自覚しましょう！とくに柳田國男がうみだした日本民俗学の成果を参考にして日本文化を考えます。あわせて、柳田がなぜ日本の文化に目を向けたのかも考えましょう。また講義を行う時節に応じて、身近にありながら目につかない具体的な日本の民俗について考えます。</p> <p>【受講生の到達目標】 * 日本の民族文化について理解できる。 * 柳田國男の民俗学がどのようなものかを知ることができる。 * 具体的な年中行事の意味を理解することができる。</p> <p>【事前に履修しておくことが望まれる科目】 * 出来れば日本史、とくに近世以降の歴史について学んでいると理解しやすい。 * 文化人類学の知識があると理解しやすい。</p> <p>【授業外学習の指示】 基本的に講義ですが、当然それをよく聴いて、必要な箇所はノートして下さい。どこが重要な問題なのかをよく理解するように。出来れば、余白に自分の疑問などを書き留めておき、質問、自学の時に参考にして下さい。ノートをどのようにとるかこそ、授業にとって重要なことです。これは、インタビューで資料を収集する技法に通じており、「民族文化誌」を学ぶことが、「民族文化」を調査することにつながっています！ 授業時に複数の参考文献を提示します。これらの文献を図書館などで渉猟し、知識を深めることはさらに重要です。その際にも、キーワードが何かを考えないと、文献渉猟が進みません。これができれば、各自ネットなどで関連論文、書籍に挑戦して下さい。 また本講義の目的でもありますが、身近にある日本文化を実地に見学、インタビューをすることも可能です。できるかぎり講義時に対応する民族文化を取り上げますから、この実地調査と上に述べた文献調査を合わせて、理解を一層深めて下さい。 できれば、それを記録に取り、文章にすることも試みて下さい！ これであなたも日本文化、日本の民俗研究に第一歩を踏み出すことになります。</p> <p>【受講および研究に関するアドバイス】 民俗調査（インタビュー）と同様に、よく聴きとり、それを理解し、ノートすることにつきます。 先述したように、参考文献を中心とした、文献渉猟を努力すれば、さらに理解は深まります。 インタビューで睡眠したり、おしゃべりしたりすることがいかに失礼なことかは言うまでもないことです。</p> <p>【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】 コミュニケーションペーパー、インタラクティブシート、学生との直接対話</p>
<p>講義スケジュール</p> <p>1 シラバスに則ったイントロダクション。授業の進め方について、簡単なアンケート < キーワード > イントロダクション、シラバス、文化、民族、民俗、歴史</p> <p>2 民俗学以前（1）近世の文化研究の背景 < キーワード > 江戸時代の教育、交通、識字率、出版</p> <p>3 江戸時代の教育、交通、識字率、出版 < キーワード > 近世随筆、国学</p> <p>4 柳田國男以前の民俗学 < キーワード > 菅江真澄、山中共古</p> <p>5 柳田國男の民俗学（1） < キーワード > 少年期、文学（和歌、自然主義）</p> <p>6 柳田國男の民俗学（2） < キーワード > 農政学、時代ト農政、篤農思想</p> <p>7 柳田國男の民俗学（3） < キーワード > 民俗学、移動民、海と山</p>

- 8 柳田國男の民俗学（４）
 <キーワード> 民俗母体、地域民俗、歴史
- 9 柳田國男の民俗学（５）
 <キーワード> 常民、稲作農耕民
- 10 柳田國男の民俗学（６）
 <キーワード> 家制度、家永続の願い、祖先観
- 11 柳田國男以降の民俗学（１）
 <キーワード> 女性の民俗、子どもの民俗、老人の民俗
- 12 柳田國男以降の民俗学（２）
 <キーワード> 複数民族論、イモ、畑作
- 13 柳田國男以降の民俗学（３）
 <キーワード> ハレ・ケ・ケガレ論
- 14 外国人の日本文化研究
 <キーワード> 日本人論
- 15 まとめと展望
 <キーワード> 日本文化研究の今後

【授業実施形態】

【開講時点でBCPレベルが2以下の場合】

- ・ 初回授業を除く14回の授業は対面形式で行います。
- ・ 担当教員の連絡先は初回授業までにmanaba+Rコース内に記載します。
- ・ 初回授業については受講生数が確定していないことからWeb授業を実施します。
- ・ 受講登録の結果、受講生数が教室定員の50%を上回った場合は受講生を2グループに分ける等の出席調整を行いながらハイブリッド型の授業を実施するか、15回すべてをWeb授業での実施に切り替えます。
- ・ 学期の途中でBCPレベルが3以上に変更になった場合は原則Web授業を実施します(対面授業は実施しません)。
- ・ 下記の条件に該当し、対面授業に参加できない学生がいた場合は対面授業回についてもWebフォローを実施しますので初回授業までを別途に担当教員に申し出てください。

[Webフォロー対象となる条件]

- 学生本人に既往症や基礎疾患のある場合
- 学生と同居する家族等への感染の懸念から通学が困難な場合
- 海外との往来制限により、学生本人が渡日・入国できない場合
- その他、新型コロナウイルス感染症に関連する理由で学生個人の責に帰さないやむを得ない事情がある場合

【開講時点でBCPレベルが3以上の場合】

- ・ 全15回をWeb授業で行います。

立命館大学のBCPレベルについては以下URL先の1.
 立命館大学における新型コロナウイルス感染症に関する対策を参照。
<http://www.ritsumeiji.ac.jp/news/detail/?id=1679>

教科書	特にありません。
参考書	以下の「書名」を参照 (書名) 柳田國男の著作(著者) 柳田國男(出版社) 筑摩書房、岩波文庫、角川文庫ほか (書名) 折口信夫の著作(著者) 折口信夫(出版社) 中央公論社ほか (書名) 宮本常一の著作(著者) 宮本常一(出版社) 未来社、ちくま文庫、岩波文庫ほか <備考> 上記の著者の研究は折に触れて取り上げます。他の参考文献も講義時に提示します。